

朗読劇団

あめんぼ座

夢枕獏 作

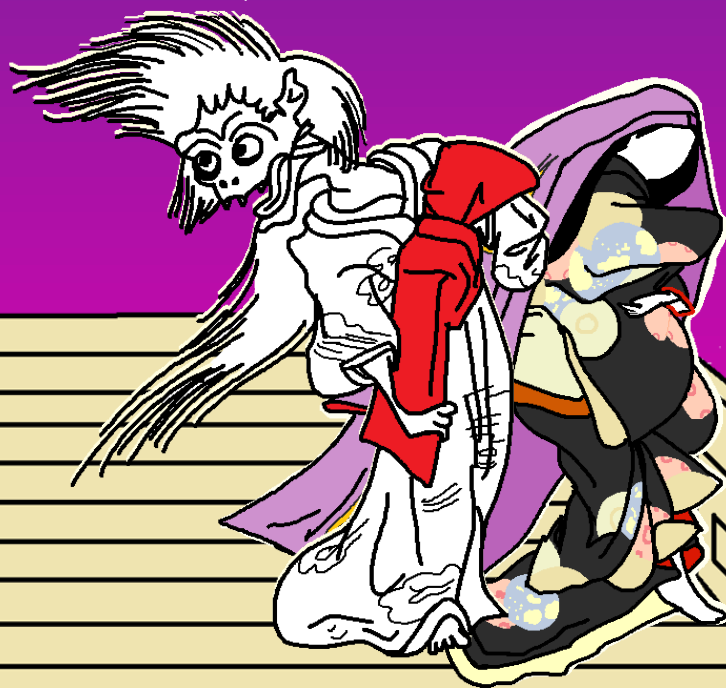
安義橋の鬼、
人を噓らふ語

与謝野晶子童話集より

女の大將
うなぎ婆さん
金魚のお使

日本語のことばの
美しさ、肉声の響きの
すばらしさを大切にし、
朗読の世界をより
豊かにと活動を続ける
「あめんぼ座」。

今回は、歌人として
有名な与謝野晶子が
子どもたちのために
作った童話二篇と、
声に出して演じるために
書かれた夢枕獏の
伝奇ホラーを、
朗読劇で上演します。



2024年
3月9日(土)
14:00開演 (13:30開場)

会場：ラスタホール
2階 多目的ホール

チケット <全席自由>

一般：1,500円(税込)

高校生以下・障がい者：1,400円(税込)

※当日券は各100円増

チケット発売：1月22日(月) 9:00

※窓口販売・電話予約

出演者

夢枕獏

「安義橋の鬼、

人を噓らふ語」

西野孝子

泉谷聖子

南数美

川口雅子

真木美佐緒

鬼頭寿美子

山本郁美

当麻美規子

与謝野晶子童話集

「女の大將」

「うなぎ婆さん」

「金魚のお使」

柳沢佐和子

柏原圭子

川口雅子

真木美佐緒



ラストホール公演に寄せて

二〇〇七年に初めてラストホールでの公演を行ってから、実に十七年という歳月が経ちました。今回の公演で十四回目となります。その間、多くの皆様に「朗読劇」の楽しさをお届け出来たのではないかと、ほんの少しうめぼれておりますが・・・さて・・・。

今回は、ちよつと「おかしな」お話を集めてみました。

まず前半は与謝野晶子の童話をお届けします。与謝野晶子と言えば「情熱の歌人」と記憶している方も多いのではないのでしょうか。しかし

晶子には、なんと十二人の子どもを立派に育てあげた「肝っ玉母さん」と言ってもいいもう一つの顔がありました。晶子は幼い子どもたちを眠りにつかせるために、枕もとでおとぎ話を語り聞かせました。そんなたくさんのおとぎ話の中から、ちよつと変えてこで、ちよつと笑える、三つのお話をお届けします。

後半は、夢枕獏「安義橋の鬼、人を噓らふ語」。夢枕獏の小説と言えば「陰陽師」を思い出す方が多いのではないのでしょうか。テレビや映画で映像化され、陰陽師、安倍晴明がブームになり今に至っています。

今回上演いたします短編小説は「今昔物語集」に載っている安義橋の鬼の話の翻案です。「陰陽師」シリーズと同様、人と鬼（もののけ）が同じ都の中で生きて

いた「平安時代の闇」を描いています。エンターテインメント性が高いこの作品を、朗読劇でどこまで表現できるのか、チャレンジです！

多くの皆様に楽しんでいただければ幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

朗読劇団あめんぼ座 柏原圭子



あめんぼ座とは

一九七三年、西垣瑩子とその仲間によって創立された日本初の朗読劇団。以来、朗読の様々な表現を模索し、多彩な舞台活動を展開、「朗読劇」といわれるジャンルを開拓してきた。十周年公演『与謝野晶子・永遠なる七五調』で大阪府民劇場奨励賞を受賞、十五周年公演『山椒太夫』で地方文化振興に貢献したとして大阪府知事より表彰を受ける。常に幅広いジャンルの作品に挑戦しつづけ、昨年は創立五〇周年記念公演を上演。ラストホールでの公演は二〇〇七年の初公演から今回で十四回目。またラストホールでは朗読劇の公演の他、朗読ワークショップや楽しい朗読など、市民向け講座の講師として劇団メンバーが活躍している。



お申込み・お問合せ

ラストホール(伊丹市立生涯学習センター) TEL 072-781-8877 <火曜休館>
〒664-0865 伊丹市南野2-3-25 <https://www.lustrehall.com>



★前売券完売の場合、当日券の販売はいたしません。

★お客様の鑑賞、車いすをご利用の方はお問合せください。

★障がい者・高校生以下のチケットを購入の際は、障がい者手帳や年齢が確認できるものをご提示ください。

※天災等により、日程変更または中止となる場合がございます。

※体調不良の場合は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。

主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / ラスタホール 伊丹市教育委員会